

令和 2 年度(2020 年度)熊本市児童館運営審議会 議事録

【開催場所】書面審議

【発送日時】令和 2 年(2020 年)11 月 12 日(木) 審議会資料発送

1. 熊本市児童館運営審議会規程の改正について

委員 13 名中 13 名の同意をいただいたことから、熊本市児童館運営審議会規程の改正は成立。

2. 令和 2 年度(2020 年度)熊本市児童館運営審議会の成立について

委員 13 名中 13 名の審議をいただいたことから令和 2 年度(2020 年度)熊本市児童館運営審議会は成立。

■熊本市児童館運営審議会委員

増淵 千保美 委員
吉津 晶子 委員
竹内 博 委員
成松 春光 委員
伊藤 大介 委員
田上 勝幸 委員
松本 泰子 委員
福田 衣都子 委員
川口 葉子 委員
川本 浩右 委員
富田 昌枝 委員
奥村 栄子 委員
高木 朝子 委員

以上 13 名

■事務局

○ 子ども未来部
部長 早野 貴志

○ 子ども支援課
課長 松永 俊治
主査 大塚 真五

○ 児童館長

中央区	西原公園児童館	吉村直敏
東 区	託麻児童館	西村啓治
	秋津児童館	石田智寿
	東部児童館	藤川潤子
西 区	西部児童館	坂田文昭
	花園児童館	馬原葉子
南 区	幸田児童館	甲斐智子
	南部児童館	岡本智美
北 区	清水児童館	清田隆宏
	龍田児童館	福田章子

【資料】

- ・令和 2 年度(2020 年度)熊本市児童館運営審議会資料
- ・(別冊 1) 令和元年度(2019 年度)児童館活動報告
- ・(別冊 2) 西原公園児童館の耐震工事・新型コロナウイルス感染症に関する児童館活動について
- ・参考資料(児童館だより 11 月号)

報告(1) 令和元年度(2019年度)の事業報告について

意見照会事項

【参照資料】「熊本市児童館運営審議会資料」の4・5(P4~P21)及び別冊資料I

児童館の利用状況・児童クラブの活動・年間行事・職員研修・広報等、令和元年度(2019年度)の事業報告に関し、ご意見をお願いいたします。

※令和元年度(2019年度)の児童館運営審議会でいただきましたご意見を基に、プログラミング等の児童の教育・生活環境等の向上に資する講座を年に2か所の児童館で実施する事としました。

※利用人数等については、新型コロナウイルス感染症の発生及び拡大に伴い、行事の中止及び臨時休館をしたため、2月~3月は大幅に減少しています。

報告(1)に対するご意見

・中高生の居場所づくりとしても、今後児童館の可能性を検討して欲しい。

・利用状況について(報告(1)~(2)共通)

新型コロナウイルス感染症の発生及び拡大に伴い、利用者数が2月3月は大幅減少と言う説明だが、月別利用状況(p.6)を見ても分かるように、5月・1月以外は全て前年度を割っていることの分析が必要ではないか。

(事務局回答)

利用者数については、毎年減少傾向です。令和元年度(2019年度)は、4月下旬から5月上旬にかけての10連休が、5月の利用者数の増加の一因と考えられます。一方で、小学校の夏休みの短縮及び大型台風により8月・9月の利用者数が減少したようです。全般的には、共働き世帯の増加及び少子化が児童館利用者数の要因と推察しています。また、平成31年(2019年)4月から始まった「幼児教育・保育の無償化」により、早期から保育所等への入園を希望する家庭が増えたことも要因と考えています。今後も利用状況を分析し、児童館への来館促進に努めます。

・年間計画について(報告(1)~(2)共通)

審議会で出た意見を基にプログラミング等の講座が計画されたようだが、今後の社会状況の中でも重要な内容と思われるので、実施個所数を増やす検討が望まれる。

・広報について(報告(1)~(2)共通)

チラシやポスターを作成して広報は、近隣の小学校という狭い範囲の広報には向いていると思うが、転居・転入してくる人たちが情報を集めようとしても紙媒体だけでは限界があると考え。次のような媒体もあるので、今後の検討の一つに紹介する。(ためまっぶ: <https://www.tamemap.net/>)

・登録率に少し注目して見たときに、保育園・幼稚園・こども園等と広報について協力している児童館の登録率が比較的高いように見えた。

一概には言えないが、児童館の方針にある目的をよりよく達成するためにも、連携協力をますます進められてはどうか。

・事業別利用者数(p7.上段)について

各館において「児童館行事」を実施しているが、10 児童館についてみると大きな差があり、原因は何か。
(事務局)

主な原因としては、同じような行事でも児童館ごとに「児童館行事」ではなく「子育て支援」や「特別行事」等として開催している場合があるためです。また、1 つの行事を中止した場合には、数十人単位で利用者数に影響がありますが、新型コロナウイルス感染症の発生による 2 月下旬からの主催行事の中止、3 月からの臨時休館の期間中に児童館行事を実施予定だった児童館の利用者数が減少していると考えられます。

・小学生の利用状況(p.9)について

児童館の設置場所の地理上状況にもよるが、西部児童館の校区内利用者数が極端に少ないのは、なぜか。

(事務局)

西部児童館の立地が関係しているものと推察します。

西部児童館のある西区役所は、小島小学校区ですが、校区の南東の端にあり、東側はすぐに城山小学校区となっています。小学校までの直線距離も小島小学校が約 1.3km、城山小学校が約 0.9kmとなっています。また、小島小学校は、平成 27 年(2015 年)に旧小島小学校 松尾東小学校 松尾西小学校 松尾北小学校の 4 つの小学校が統合し、現在の小島小学校となっています。校区の範囲は小島小学校から北に約 5 キロまであり、山間地も多く公共交通空白地域もあることから、西部児童館の立地条件及びアクセスの問題により、西部児童館の校区である小島小学校の児童の利用が少ないものと考えます。

・児童館行事への参加は前年度に比べて増えているようで、参加への利用者と各館の努力があったのではないか。

・児童クラブへの参加状況は良いようだが、その他の利用が減っているのは、2~3 月のコロナの影響か。

(事務局)

2 月~3 月の新型コロナウイルス感染症の影響もあると考えています。ただし、児童館の利用者数については、毎年減少傾向です。要因としましては、共働き世帯の増加や少子化と併せて平成 31 年(2019 年)4 月からの「幼児教育・保育の無償化」も影響しているようです。児童クラブについては、なるべく近隣小学校の土曜授業等を避けて計画する等、小学生が参加しやすいように計画しています。

・児童クラブでは、参加できない子も多いようだ。これからは特に人数制限も出てくると思われるが、回数を増やす等の工夫はあるか。

(事務局)

人数については、令和 2 年度(2020 年度)は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために制限しています。現状では、感染予防を講じながら実施可能かどうか検討し、実施可能なものを優先的に実施しており、子ども達の健康を守ることを第一にしています。

また、児童クラブについては、前年度の申し込み状況を考慮し、毎年実施内容や回数を検討しています。

新型コロナウイルス感染症により、感染症対策経費の増加や児童館の利用制限があるため、現状で児童クラブの実施回数を増やすことは難しいですが、来年度の活動計画の中で、精査し検討を行いたいと考えます。

- ・コロナでいろいろと大変だったことと思う。そのような中で、できるところから工夫して行っていることがありがたい。
- ・クラブ活動が、現状では中止になっているものが多数だが、オンラインを活用してできるものがあるのではないか。
- ・歯科相談や保護者相談などを行っていることがよい。
- ・年度末に新型コロナウイルス感染症の発生が明らかになり、関係者の方々には行事の中止等多大なご苦勞があったと拝察した。
- ・報告書によると、児童館ごとの利用者数にややばらつきがあるものの、前年度対比で目立った差はみられず、関係者の努力がうかがえる。
- ・数字の上からすると「地域組織活動」と「特別行事」では、前年度対比の落ち込みが目立った。コロナの影響もあったでしょうが、もう一工夫欲しいと感じた。
- ・グラフ化した資料でとても分かりやすい。
- ・行政の方たちが一番辛い時期かと思う。
- ・来年、コロナが収束すれば、子ども達も元気で児童館に遊びに来てくれると思う。
- ・これからも色々やれる事はやってほしい。
- ・分かりやすいようにまとめてある。沢山の色々な活動もしてあり、利用している児童、保護者の方々も参加され、楽しい時間を過ごせて良かった。
- ・1日でも早く日常生活に戻るように願う。

報告(2) 令和2年度(2020年度)の事業計画について
意見照会事項
【参照資料】「熊本市児童館運営審議会資料」の4~6(P4・P12~P22) 別冊資料「別冊2」の 西原公園児童館耐震工事(P1)
令和2年度(2020年度)の事業計画・児童クラブの活動・年間行事・職員研修・広報等に関して、ご意見をお願いいたします。 ※児童クラブ・年間行事については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う臨時休館及び感染防止対策のため、中止となったものもあります。
報告(2)に対するご意見
<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも広報活動に尽力して欲しい。 ・児童クラブの活動は中止になったものも多い中、清水児童館では、他館に比べ中止になったものが少ないのは、何か工夫をされたのか。 (事務局 清水児童館回答) 新型コロナウイルス感染症に関する各種ガイドラインを踏まえ、中止の決定をする前に児童クラブ活動の内容や回数等について講師と感染対策に配慮した実施方法の検討を行いました。その結果、定員や実施回数の制限、激しい運動の抑制、講師との接触を行う活動は非接触の活動に変更する等を行い可能な限り実施することにいたしました。 具体的には、絵画造形クラブは、密を避けるために定員を16名から8名に変更しました。ヒップホップダンスクラブは激しい運動を制限し、回数を10回から6回に変更するとともに、保護者の立ち合いを制限しました。体操クラブは、逆上がりやマット運動等の講師と接する内容からボール運動や縄跳びに変更し、回数を7回から2回に変更しました。 ただし、熊本市児童館運営審議会資料での報告時点(9月1日時点)では、中止を決定していない児童クラブについても、感染状況によりやむを得ず中止とすることもありますが、感染対策を行いながら実施できるように努めております。 ・児童館の広報は、コロナ禍の中、きめ細かな広報活動に努力されていると思うが、これからも内容の充実を望む。 ・コロナの中、新しいアイデアも大切にしながらより良い方向で進めていただければありがたい。 ・ふれあい文化センターについて 工事期間中の利用について、駐車場が少ないと思われるが、その辺はどのように対応しているのか。 (事務局) ふれあい文化センターについては、駐車場が少ないことから、自家用車を利用される場合には、西原公園児童館の駐車場を利用していただいています。 ・職員研修・情報交換について オンライン(Zoom等)での実施はないのか。資料・アンケートだけでは不安にならないか。 (事務局)

今後の感染状況では、オンラインによる実施も検討しています。資料・アンケートによるものについては、不明な点がある場合には、電話等により情報共有を行っています。また、日頃から情報共有、連携を行っています。

・令和2年度の事業計画については、コロナの影響で中止になった行事等も多く、残念だった。

・新型コロナウイルス感染症に揺れた日々で、クラブ活動や行事も中止されている。苦難の日々が続くが、職員の方々も情報交換等連携及び技術向上し頑張りたい。今までどおり児童館を守ってほしい。

報告(3) 新型コロナウイルス感染症に関する児童館活動について

意見照会事項

【参照資料】別冊資料「別冊 2」の 新型コロナウイルス感染症に関する児童館活動について(P2~P8)

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、令和2年(2020年)3月から臨時休館としていましたが、同年6月より児童館を再開しました。児童福祉施設である児童館は、子どもの健全育成の推進及び子育て支援を継続するため、感染防止対策を講じながら、児童館活動を継続していくこととしています。

新型コロナウイルス感染症対策を行い実施している児童館活動について、ご意見をお願いいたします。

報告(3)に対するご意見

・新型コロナウイルス感染症に関する児童館の活動については、非常に厳しい状況の中、各児童館がしっかりと取り組まれている様子が分かった。特に、東部児童館と秋津児童館が行っている「1時間に1回10分の屋内床消毒」は、病院の待合室並みの徹底だと感心した。

(事務局)

東部児童館、秋津児童館以外の児童館におきましても、同様に屋内床消毒を行っておりますので、今後も児童館全体で感染予防を行い、子どもたちに遊びの場が提供できるように努めていきます。

・これからの活動は、感染予防をするのが当たり前になってくることと思われる。児童館利用者の大人も子どもも、感染予防が生活の一部として身につくよう活動の中でもやっていくことが大切だと思う。

・施設内の感染防止については、工夫され努力されている様子がみられる。

・感染防止のための予算措置は十分にされているか。

(事務局)

令和2年度(2020年度)については、国の「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業」により、1児童館あたり50万円の予算措置を行っております。

・様々な対策が大変丁寧になされており、安心した。

・児童館利用時の利用前の確認について

体温は利用時に測定するのか。それとも保護者の記入のみ(自己申告のみ)なのか。

(事務局)

来館前に自宅での体温測定等の体調確認をお願いするとともに、来館時にも非接触体温計により体温の確認を行っています。

・利用時間は、1人60分とあるが、管理している人が随時いるのか。

(事務局)

児童館に常駐している児童厚生員(保育士資格等を保有する者)やその他の児童館職員が管理しています。

・新たに始めた取り組みについて

工作キットの配布、作品の展示はすごく良い取り組みだと思う。コロナ対策の間だけでなく、今後も続けて

欲しいと思う。

・コロナ禍については、児童館ごとに十分な感染防止対策ができていることがうかがえて、安心した。子ども達を対象なので、今後も十分な配慮を更に続けて欲しい。

・西原公園児童館については、工事中のため年度内は母親クラブの活動を中止しているが、今はまだ何もしないのが一番だと思う。

・3月から臨時休館し、6月より児童館を再開し、混雑防止のために利用時間を分けたり、職員の方々もお忙しいことだと思う。

・感染防止対策の消毒・清掃・衛生管理・健康チェックシート確認、いつまで続くか分からないが、新たに始めた取り組み等により楽しく子どもの発達の推進に励んでもらいたい。

意見照会事項

その他、全般的にご意見がありましたら、ご記入くださいますようお願いいたします。

その他のご意見

・コロナ禍の厳しい状況の中、現場で様々に取り組まれている報告の中でも、【新たに始めた取り組み】(別冊2 P8)が目をつけた。特に「工作キットの配布」、「家庭での遊びの支援」は、厳しい状況下にあっても子育て支援を継続するという視点から重要であると考えます。また更に、これらの支援の「その後のフォローアップ」が行われたのか、行われていないのか、知りたいところだ。

(事務局)

工作キットについては、家庭で作ったものを児童館に持ってきていただき、壁面に飾ったり、難しいところは個別にフォローしています。

・今後の流行が見通せない中、このような取り組みが多くの児童館に広がる必要があるのではないかと考える。

・それぞれの館で、工夫し苦労されている様子がうかがえる。大変な中だが、児童や幼児、親子のための活動をして欲しい。

・児童館のある校区、またその近隣の校区以外の子どもたちのことを考えると、幅広い校区への広がりが工夫されるように望む。

・これからも児童館の雰囲気を良くして、良い環境を作り出して欲しい。

・西原公園児童館の耐震改修工事が終わり、再開することを待ち望む。